

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 私立高等学校振興費補助金
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称						
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち						
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む						
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり						
小分類	2	開かれた学校づくりの推進						
主要な施策	2	地域・家庭との連携促進						
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4cccc;">事務事業コード</td> <td>52222001</td> <td style="background-color: #f4cccc;">事業開始年度</td> <td>平成 1 4 年度</td> <td style="background-color: #f4cccc;">事業終了年度</td> <td>平成 2 2 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	52222001	事業開始年度	平成 1 4 年度	事業終了年度	平成 2 2 年度
事務事業コード	52222001	事業開始年度	平成 1 4 年度	事業終了年度	平成 2 2 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	私立高等学校振興補助金
------	------	------------	-------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 市内に私立高等学校を設置している学校法人(以下「私立高校」という)に対して、保護者の負担軽減と、軽減による入学者の増加及び生徒数確保を目的とし経費の補助を行う。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 保護者の負担軽減と、軽減による入学者の増加及び生徒数確保を目的とし経費の補助を行う。  <b>【補助内容】</b> 入学金の軽減に要する経費 私立高校が入学金を減免した額の3分の2以内 教育設備に必要な備品購入に要する経費 財政事情を考慮し援助額を決定
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 私立高校に在学する学生の経済的負担が軽減される。 私立高校の教育環境の維持、向上が図られる。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	対象者数	人	目標値	100	0	0	0	0
			実績値	75	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	1,060	0	0	0	0	0
合 計			1,060	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	66	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		66	0			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 事業の縮減・廃止は、直接、入学者の経済的負担の増加につながり、教育を受ける機会を狭める結果となるため、市が本事業により補助を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 年毎に変動はあるものの、入学者数は概ね維持されている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業の継続により私立高校の教育環境の維持、向上を図ることが出来る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 人工、所要時間は、既に必要最低限である。

## 担当グループによる評価

<b>終 了</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	対象である登別大谷高校は室蘭大谷高校と平成25年4月に統合予定であり、新入生の募集は、平成22年度で終了したため。
------------	----------------------	---

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>終 了</b>	備考
------------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）